

大学で看護を学ぼう！



2025 年に向けた看護師増加計画

4年制の看護系大学は、2024年に288大学306課程（省庁大学校を含む）となりました。全国の大学のうち1/3に看護系の学部学科が設置されています。また、看護師国家試験の合格者数も大学卒のかたがおよそ4割を占め（2024年3月）、看護界における大学卒の割合は飛躍的に伸びています。

高度化・専門化した先端医療を担う大学病院や特定機能病院等では、4年制大学を卒業した人材を多く求めています。療養の場が多様化する中、地域で暮らす人々を支えるために広い視野をもつ人材の養成が急務となっているからです。超高齢社会の日本を支えるために、2025年までに勤務看護師数の50万人の純増が期待されている看護界にあって、全国看護系大学から構成される一般社団法人日本看護系大学協議会は、優秀な人材を輩出する大きな役割を担っています。

学士号を持った看護師とは

▶ 学位とは

学位とは大学などの高等教育機関において、一定の教育課程の修了者等に対して学術上の能力または研究業績に基づき授与される称号を言います。文部科学省に認められた4年制大学卒業者には学士、更に大学院に進学した場合、修士課程修了者には修士、博士課程修了者には博士の学位が与えられます。

▶ 学士号を持つことの意味

現在、新たに看護師資格を得る人のおよそ4割は看護系大学の卒業生です。この数は、専門学校の卒業生が大半を占めていた時代から、ここ30年で飛躍的に増加しました。

大学での学びを通して修得する知識、技能、態度、倫理観、生涯学習力、創造的思考力は、多様な対象者の看護ケアを行う看護師・保健師・助産師にとって基盤となる能力です。

▶ 学士号を持った看護師の特長

幅広い教養を身につけている

グローバルな視点を持っている

批判的・論理的思考力を養っている

自己教育力を育んでいる

根拠に基づく看護ができる

創造的で柔軟な思考ができる



日本看護系大学協議会マスコットキャラクター
“JANPUちゃん”



大学卒業後の看護職の活躍



看護系大学 卒業生のことば

看護師 Nurse

看護大学を卒業し、大学病院に勤務して6年目です。学生時代にがん看護に興味をもち、現在、乳腺外科に勤務しています。最先端医療や化学療法の進歩と共に看護も進歩しています。患者さんが少しずつ良くなっていく姿が励みとなり、最近、化学療法の副作用対策について学会で発表しました。将来は、地域で暮らすがん患者の訪問看護に携わりたいと思っています。いつでもどこでも誰にでも信頼される看護師をめざしています。

保健師 Public Health Nurse

卒業後、3年間病院勤務をした後、県の保健師として2年間勤務し、さらに住民ともっと身近にかかわりたいと思い、現在は東京23区の保健師をしています。精神から母子まで、幅広い健康相談に対応するため、自己研さんの必要性を感じ、大学院修士課程に進学しました。

養護教諭 School Nurse

大学で養護教諭一種免許取得後、大学院に直接進学し養護教諭専修免許をとって小学校の養護教諭として勤務して8年。3年前より中学校の養護教諭です。虐待、不登校の子どもに寄り添い、健康教育をするなど、忙しい毎日ですが、子どもの成長を見られることが喜びです。

大学教員 Faculty

看護系大学を卒業して看護師を8年経験した後、大学院修士課程に進学しました。看護の奥深さ、真摯さに惹かれて大学教員になりました。昨年看護学博士号を取得。現在は大学の講師です。准教授、教授とキャリアを進めていながら、自己研さんに努めたいです。

助産師 Midwife

看護学部を卒業後、すぐに助産師コースのある私立の大学院に進学しました。修士課程修了後、病院の産科に勤務して実務経験2年目です。分娩経過はそれぞれの妊婦さんで異なり、毎日やりがいを感じています。院内助産システム*のある病院で働くことが夢です。将来的には途上国における母子保健で活動することも視野にいれ、キャリアを積んでいきたいです。

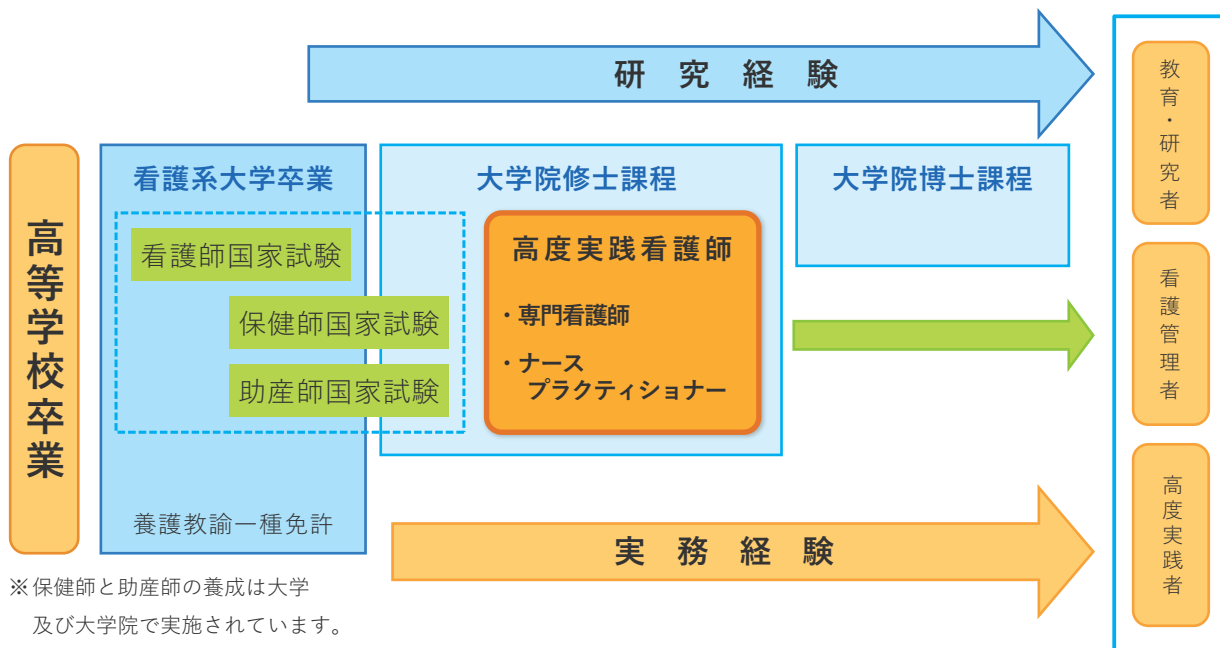
※病院や診療所において助産師が主体的に妊婦健診・分娩介助・保健指導などを行う。



専門看護師 CNS

大学で看護を学ぶなかでコンサルテーション・スキルに初めて触れ、臨床で看護に悩んだ時にも救ってもらったその技術を自分も身につけたいと、大学院修士課程：CNSコースに進学しました。患者や家族のために多職種協働が生み出す相乗効果の素晴らしさを実感しながら、より良い医療・看護の提供をめざし、CNSとしての経験を一つ一つ大切に積み重ねています。

大学卒業後にさらに広がる看護のキャリア



高度実践看護師教育課程について



グローバル水準の看護の高度専門化と役割拡大を通して、国民の保健医療ニーズに対応し、医療の質の向上および国民の健康に貢献することをめざし、日本看護学会で高度実践看護師 (Advanced Practice Nurse: APN) 教育課程の認定を行っています。

高度実践看護師の教育は大学院修士課程で行われています。高度実践看護師を養成する教育課程は、専門看護師教育課程とナースプラクティショナー教育課程の2つから構成されています。

専門看護師教育課程 は、保健・医療・福祉現場において、複雑な健康問題を有する患者にケアとケアを統合し、卓越した直接ケアを提供するとともに、相談、調整、倫理的調整を行い、ケアシステム全体を改善することで、看護実践を向上させる高度実践看護師を養成する教育課程です。14の専門看護分野で、327教育課程が認定されています(2024年現在)。

ナースプラクティショナー教育課程 は保健・医療・福祉現場において、病院・診療所等と連携して、現にまたは潜在的に健康問題を有する患者にケアとケアを統合し、一定の範囲で自律的に治療的もしくは予防的介入を行い、卓越した直接ケアを提供する高度実践看護師を養成する教育課程です。2015年7月から教育課程の認定審査が開始され、6教育課程が認定されています(2024年現在)。

『ザ・データベース・オブ JANPU』にアクセスしてみよう！



いろいろな条件から看護系大学の検索が可能。ユニフォーム写真もいっぱい！



代表理事より ごあいさつ

日本看護系大学協議会は、看護学高等教育機関相互の連携と協力によって、看護学教育の充実・発展及び学術研究の水準の向上を図り、もって人々の健康と福祉へ貢献することを目的として発足しました。我が国の看護系大学は、現在 288 大学 304 課程あり、入学定員は約 27,000 名と、大学教育の中で大きな位置を占めています。大学院は 213 大学が修士課程を、127 大学が博士課程を設置し、高度専門職業人、教育者、研究者を育成しています。

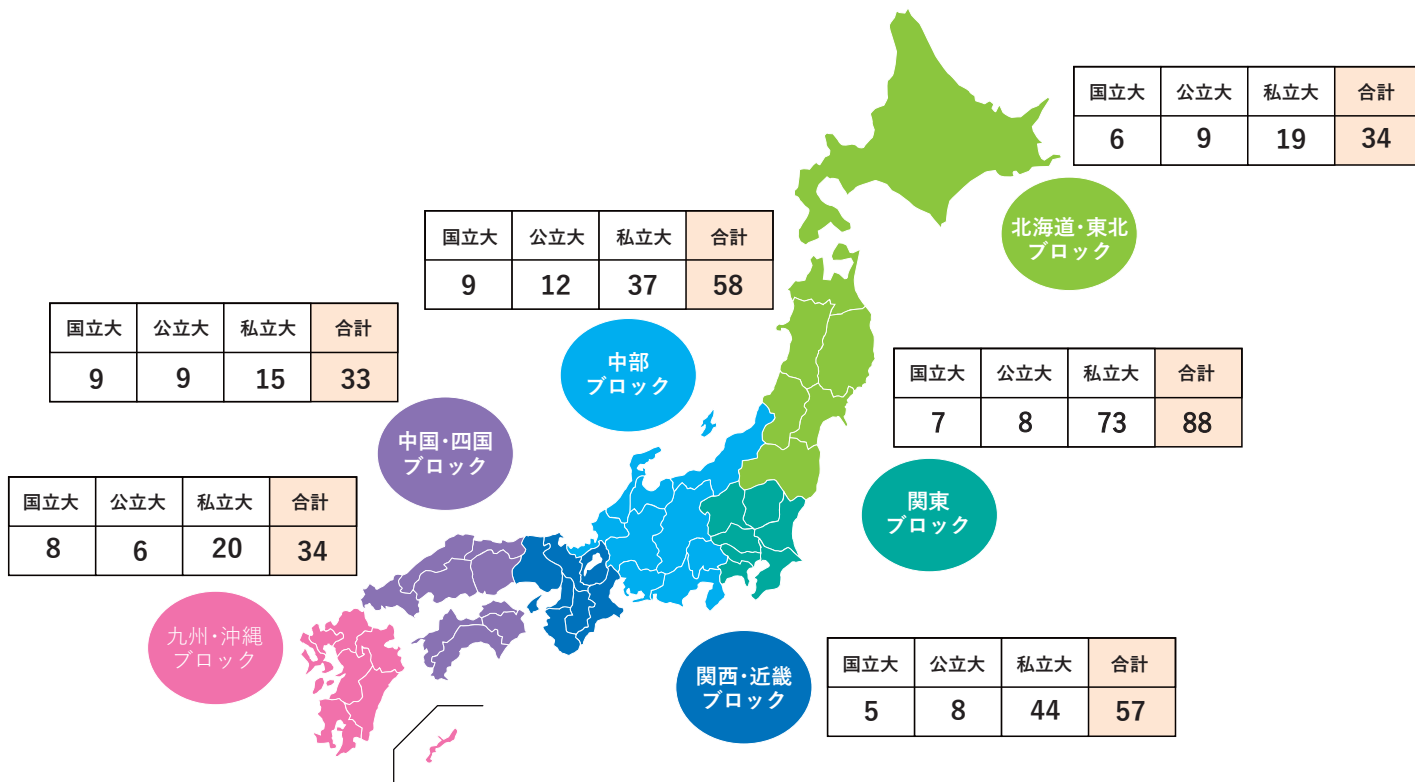
看護系大学の学部・大学院修了者は、保健医療福祉の現場はもちろん、多様な場面で活躍しています。少子高齢化の進んだ我が国において、看護職が大きく進化し、社会にますます貢献することが必要です。日本看護系大学協議会は、看護系大学教育・研究の新たな展開をめざし邁進いたします。

一般社団法人 日本看護系大学協議会
代表理事 堀内 成子

設立49年を迎えた日本看護系大学協議会



日本看護系大学協議会は、1975年に6大学教員有志によって発足いたしました。その後、我が国の看護系大学は11校の時代が10年余り続きました。看護師等の人材確保の促進に関する法律などの成立と相まって、1990年代後半から看護系大学が増加し、2024年度には会員校が304校になりました。



一般社団法人 日本看護系大学協議会

JANPU : Japan Association of Nursing Programs in Universities

日本看護系大学協議会は、看護師になりたい高校生や大学・大学院で看護を学びたい方に向けて、看護系大学へ行くことのメリットを様々な場所から発信している全国の看護系大学304校が加盟する団体です。

〒101-0047 東京都千代田区内神田 2-11-5 大沢ビル 6 階 TEL:03-6206-9451

このリーフレットは右記の URL からダウンロードできます。 https://www.janpu.or.jp/download/pdf/janpu_kango.pdf



JANPU www.janpu.or.jp/